

8月になりました。今年の盛夏は東・西日本を中心に猛暑となり、9月も厳しい残暑が続くだろうと言われています。例年の夏とは違い、新型コロナウイルス感染症対策でマスクを着用しているため、熱中症のリスクが高くなります。マスクを着用しているときはこまめな水分補給を心がけましょう。また、広い屋外で運動する場合や歩く場合などはマスクを外しましょう。

暑い日が続くと、ジュースやスポーツ飲料を飲む機会も増えます。汗を掻いた後、一気に飲み物を喉に流し込むのは爽快ですよ。しかし、注意したいのが「酸蝕歯（さんしょく歯）」です。

酸蝕歯は「むし歯」と違い、飲み物などの酸によって歯が溶けたり、歯が斑になったりする歯の病気です。ジュースやコーラ、炭酸飲料、スポーツ飲料等を飲むときは①だらだら・ちびちびと長時間飲まない、②飲んだ後はうがいをしたりお水を飲む、などをして酸蝕歯を予防しましょう。

学生の皆さんは新型コロナウイルスの影響で、いつもより短い夏休みとなりそうですが、感染予防や熱中症など、色々な事に注意をしながら素敵な夏休みを過ごして下さいね！

ながさき歯科医院からのお知らせ



虫歯に気をつけましょう



ながさき歯科医院

電話 042-729-4182

訪問専用ダイヤル 0120-75-4182

診療科目 一般歯科、小児歯科、口腔外科、歯列矯正、審美歯科、インプラント、
予防歯科、訪問診療

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~12:30	9:00 ~12:30	9:00 ~12:30	休診	9:00 ~12:30	9:00 ~12:30
午後	14:30 ~18:30	14:30 ~18:30	14:30 ~18:30	休診	14:30 ~18:30	14:30 ~16:30
休診日：日曜・祝日・木曜日						

保険適応でも白い歯にできる！？

保険診療でも白い詰め物や白い被せもので治療できる場合がありますが、ご存知ですか？

★保険の白い歯とはどんな素材なの？

保険治療で使える白い歯は、多くの歯科医院で小さいむし歯の治療に使われる「CR（コンポジットレジン）」と呼ばれる詰め物と、一定の施設基準を満たした歯科医院で使われる「レジンブロック」と呼ばれるプラスチックとセラミックでできたブロックから作る被せ物、そして金属にプラスチックを貼り付けた、前歯に使われるレジン前装冠です。

1. CRによる詰め物のメリットとデメリット

- **メリット**
 - ①歯を大きく削らずにすむ：窩洞が小さい場合はきれいに充填できます。
 - ②1日で治療できる：治療は1日で治ります。ただし、検査とその歯の歯周処置が終わってからになります。
 - ③治療費が安価：高価な金属や技工所を使わないので比較的安価にできます。
- **デメリット**
 - ①半年ぐらいで着色することがある
 - ②強度が弱いため、欠けたり割れたりすることがある
 - ③二次的なむし歯になることがある



2. レジンブロックの被せ物のメリットとデメリット

- **メリット**
 - ①小臼歯と大臼歯に白い被せ物ができる（条件があります）
 - ②金属アレルギーの心配がない
 - ③治療費が安価（ただし、銀歯よりは高くなります）
- **デメリット**
 - ①金属に比べて柔らかいので、歯を大きく削る
 - ②金属に比べて強度が弱いため、大臼歯に使用すると割れることがある（このため、使用できる条件があります）



3. 前歯の白い歯はどんな素材なの？

前歯には、金属の前面にレジン貼り付けた白い被せ物を入れることができます。最初はきれいですが、何年かすると唾液を含んでしまい、給食で使うプラスチック食器のように色が変わったり、膨張して形が変わったりします。

★自分に合った治療を選びましょう

レジンと金属とを比較すると“強度”に不安があるため、保険では大きく歯が失われた場合や咬み合わせの力が大きくかかる部位は金属で治療することになります。また、CRは固まるときに収縮するほか、レジンブロックの保険治療には色々な制約があります。その点自費治療では、自然で美しく、強度があって長持ちするジルコニアやeマックスなど、優れたセラミックの素材を選べます。これらは、透明感があり、本物の歯と見分けがつかないほど自然な歯に仕上げることができます。しかも長持ちしますので、長い目でみれば保険よりもお得になることもあります。治療の際は、患者様のご希望に添った治療をお選びいただけます。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。



ながさき歯科医院

